

PRESS RELEASE

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY
京都市立芸術大学ギャラリー・アツア【芸術館内ギャラリー内】

お問い合わせ: 075-253-1509 infokcu@gmail.com

<http://www.kcuu.ac.jp/gallery/>

叶道夫 京都市立芸術大学退任記念展

展覧会名称	叶道夫 京都市立芸術大学退任記念展
会期	2014年3月15日(土)～3月30日(日)
開館時間	11:00～19:00(最終入場 18:45 まで)
休館日	月曜日(祝日の場合は開館、翌火曜休館)
企画	京都市立芸術大学陶磁器研究室
主催	京都市立芸術大学
会場	ギャラリー @KCUA ギャラリー A, @KCUA2
観覧料	無料
イベント	レセプションパーティー 3月15日(土) 16:00～
お問い合わせ	075-253-1509

京都市立芸術大学は、本学工芸科陶磁器専攻の叶道夫教授の退任記念展を開催致します。

叶は本学工芸科陶磁器専攻を1971年に卒業しています。在学中から日展を中心とする活動を開始し、独特のたたずまいを見せる造形と、高度な釉薬技術を駆使した幽玄な色彩による作品は、二度特選を受賞するなど高い評価を得ています。

その一方で、京焼を代表する窯元のひとつ松谷窯の当主、叶松谷として、主に京懐石のための器作りに携わっています。各分野の職人を指導するプロデューサー的役割を務めると共に、轆轤や絵付の現場では一職人として製作をしています。2007年の本学着任以来、京焼における様々の高度な技と文化的素養は学生達にとっても刺激的で得難いものでした。

本展では叶道夫、叶松谷それぞれのしごとを紹介致します。また、同時開催として、叶に指導を受けた新進陶芸家5名による展示も行います。是非御高覧頂きますようお願い申し上げます。来る展覧会です。是非、多く皆様にご高覧頂きますようお願い申し上げます。

なお、「叶道夫 退任記念併催企画展」をギャラリー @KCUA ギャラリー B にて同時開催致します。

「叶道夫 退任記念併催企画展」

出展作家 上田順平／梶木奈穂／黒川徹／高柳むつみ／村上愛

会場 ギャラリー @KCUA ギャラリー B

PRESS RELEASE

@KCUA

KYOTO CITY UNIVERSITY OF ARTS ART GALLERY
京都市立芸術大学ギャラリー・アック【京都市立芸術大学キャンパス内】

お問い合わせ: 075-253-1509 infokcuia@gmail.com

<http://www.kcuia.ac.jp/gallery/>

■作家紹介

叶 道夫 (松谷)

京都伝統陶芸家協会会員

日展会員

日本新工芸家連盟理事

京都工芸美術作家協会監事

京都市立芸術大学教授

陶歴

- 1948 二代 松谷の長男として生まれる。

- 1971 京都市立芸術大学美術学部工芸科陶磁器専攻卒業
- 1974 第四回フランス バロリス国際陶芸展グランプリ名誉大賞受賞
バロリス美術館蔵

- 1979 中日国際陶芸展 外務大臣賞
フィレンツェ国際陶芸展に招待出品
- 1988 日本新工芸オーストラリア展に招待出品 実行委員として渡豪
- 1990 日展 特選「黎」京都国立近代美術館蔵
京都府南山城村に登窯を築く

- 1998 日展 特選「赫耀」京都市立美術館蔵
- 2000 三代 松谷を襲名 各地にて襲名展開催
- 2005 京都迎賓館に作品を納める
- 2007 日展 会員賞「翠滴」
- 2008 野村美術館にて松谷三代展
- 2010 高島屋京都店・中国上海環球金融中心にて天野喜孝、夢枕獏と三人展
- 2011 日本新工芸展 内閣総理大臣賞「玄擘」
- 2012 日本橋三越本店・高島屋京都店にて「開窯百年展」開催

■参考作品

「凛」



「叶道夫 退任記念併催企画展」



■作家紹介

●上田順平 / 『カスタムオーナメントポット 愛犬エース』 / 2003年
2005 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了
2010 五島記念文化財団研修員としてメキシコに滞在制作
2013 ジパング展 沸騰する日本の現代アート
(新潟県立万代島美術館 / 高崎市美術館 / 八戸市美術館 / 秋田県近代美術館)
KYOTO ARTISTS MEETING (Antena Media/ 京都)
「おいしい展覧会 ～ art dining ～」 (galerie 16/ 京都)

○梶木奈穂 / 『メゾン蓬萊』 / 2009年
2003 中国政府奨学金により景德鎮陶磁学院留学
2006 筑波大学芸術専門学群特別カリキュラム窯芸卒業
2008 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了
2009 個展「梶木奈穂展 古陶磁のチャイナドリーム」(INAX ガレリアセラミカ/ 東京)

●黒川徹 / 『コーポーの内壁, 角のアルゴン』 / 2012年
2009 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了
2011 個展「銀黒陶—有機体の幾何学」(INAX ガレリアセラミカ/ 東京)
2012 滋賀県立陶芸の森ゲストアーティスト
2013 新北市鶯歌陶磁博物館ゲストアーティスト (台湾)
個展「平行する園丁」(Studio Soaring Birds/ 京都)

○高柳むつみ / 『—無限光年の眼』 / 2013年
2010 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了
2013 個展「くうきをうつす/磁器 マルトリケトラ」(田口美術、宝鑑美術)
個展「くうきをうつす/磁器 シロノブレ」(ギャラリー器館/ 京都)
現在 富山県八尾町にて制作

●村上愛 / 『トロイメライの都築』 / 2013年
2011 京都市立芸術大学大学院美術研究科工芸専攻陶磁器修了
2012 個展「村上 愛展 遊戯する陶～シノニム～」(LIXIL ギャラリー/ 東京)
ふしぎ! たのしい! ゲンダイトーゲイ—親子でめぐる やきもの図鑑—
(茨城県現代陶芸美術館)
2014 「やきものの現在 - 土から成るかたち -Part XⅢ」
(多治見市文化工房 ギャラリーヴォイス/ 岐阜)